

テニスのルールについて その1

JLTF 2022年中央エリア研修会報告書より抜粋 (山中友子講師)

セルフジャッジで大切なこと

- ・選手はスポーツマンシップに則って相手を尊重し、正々堂々とプレーし正確なジャッジをすること
- ・セルフジャッジの5原則を守る
- ・相手のジャッジを尊重して受け入れる
- ・どうしても相手の判定がおかしいと思うなら、RUを通して確認するのが良い
- ・相手の判定に不満があるときは、冷静に節度を守った態度で確認を行うことが大事
- ・試合中ヒートアップして相手に暴言などを吐かないようにする

セルフジャッジでミスジャッジをし訂正した時

- ・1回目はポイントレット 故意ではない妨害 (明らかなウイニングショットはポイント成立)
 - ・2回目以降は失点 故意の妨害
 - ・ペアで判定の食い違ったとき、失点するケースとポイントのやり直しになるケースの説明
- ① 選手A「イン」、選手B「アウト」 ➡失点
 - ② 選手A「イン」、選手B「アウト(すぐに訂正)イン」 ➡レット

Q:ダブルスでレシーバーがフォールトをコールしたがペアが即座にインと訂正した場合はやり直し?

A:①のケース・・・やり直しではなく失点

* 第2サーブがネットに触れた後 レシーバーがミスジャッジをし訂正した時 第2サーブのやり直し